

化学物質安全性データシート(MSDS)


株式会社モリムラ

所在地 東京都台東区上野 3-17-10

電話: 03-5808-9350 FAX: 03-5808-9351

2021年2月(第3版)

2019年4月(第2版)

製品情報	9.5%フッ化水素酸 (歯科技工用セラミックス表面処理材料、5g入シリンジ、医薬用外毒物)
製品販売名	ビスコポーセレンエッチャント(9.5%フッ化水素酸)
危険有害性情報	<p>GHS 分類:</p> <p>物理化学的危険性: 金属腐食性物質 : 区分 1</p> <p>健康に対する有害性: 急性毒性(経口) : 区分 3</p> <p style="padding-left: 20px;">急性毒性(吸入: 蒸気) : 区分 3</p> <p style="padding-left: 20px;">皮膚腐食性/刺激性 : 区分 1A-1C</p> <p style="padding-left: 20px;">眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 : 区分 1</p> <p style="padding-left: 20px;">皮膚感作性: 区分 1</p> <p style="padding-left: 20px;">生殖細胞変異原性: 区分 2</p> <p style="padding-left: 20px;">標的臓器/全身毒性(単回曝露) : 区分 1(呼吸器、脾臓)</p> <p style="padding-left: 20px;">標的臓器/全身毒性(反復曝露) : 区分 1(骨、歯、下垂体、甲状腺、腎臓、神経系、肝臓、精巣、気管支)</p> <p>環境に対する有害性: 水生環境有害性(急性) : 区分 3</p> <p>上記で記載がない危険有害性は、分類対象外か分類できない。</p> <p>ラベル要素: 絵表示又はシンボル:</p> <div style="text-align: center;">  </div> <p>注意喚起語: 危険</p> <p>危険有害性情報:</p> <p style="padding-left: 20px;">金属腐食性物質: 金属腐食のおそれ</p> <p style="padding-left: 20px;">急性毒性(経口): 飲むと有毒</p> <p style="padding-left: 20px;">急性毒性(吸入): 吸入すると有毒</p> <p style="padding-left: 20px;">皮膚腐食性/刺激性: 重篤な皮膚の薬傷</p> <p style="padding-left: 20px;">眼に対する重篤な損傷/刺激性: 重篤な眼の損傷</p> <p style="padding-left: 20px;">呼吸器感作性/皮膚感作性: アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ</p> <p style="padding-left: 20px;">変異原性(生殖細胞変異原性): 遺伝性疾患のおそれの疑い</p> <p style="padding-left: 20px;">特定標的臓器/全身毒性—単回曝露: 臓器(呼吸器、脾臓)の障害</p> <p style="padding-left: 20px;">特定標的臓器/全身毒性—反復曝露: 長期ないし反復曝露による臓器(骨、歯、下垂体、甲状腺、腎臓、神経系、肝臓、精巣、気管支)の障害</p> <p style="padding-left: 20px;">水生環境有害性(急性): 水生生物に有害</p>

注意書き:

[予防策] 屋外または換気のよい場所でのみ使用すること。

粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーの吸入を避け、吸入しないこと。

個人用保護具を使用すること。

保護具、保護グローブ、保護メガネ(あるいは保護面)、保護マスクを着用すること。

取扱い後は中性石鹼でよく洗うこと。

汚染された作業衣は作業場から出さないこと。

使用前に添付文書を熟読すること。

すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。

この製品を使用するときに、飲食または喫煙をしないこと。

環境への放出を避けること。

耐食性または耐腐食性の内張りをした容器を使用すること。

[対応] 事故発生に際しては、直ちに医師の診察を受けること。その際には、ラベル等を提示すること。

吸入した場合: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

皮膚に付着した場合: 直ちに汚染された衣類をすべて脱ぐこと／取り除くこと。

皮膚を大量の石鹼と水／シャワーで洗うこと。衣服を再使用する場合は、使用前に洗うこと。

眼に入った場合: 大量の水で数分以上注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

飲み込んだ場合: 口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。大量の水を飲ませる。

暴露または暴露の懸念がある場合: 医師の診断／手当を受けること。

気分が悪いときは、医師の診断／手当を受けること。

※いずれの場合も速やかに医師の診断を受ける。

[保管] 湿気のない、20～25℃の暗所に保管すること。

容器のキャップはしっかり閉め、換気の良い場所に保管すること。

[廃棄] 廃液、汚泥等は関係法令に基づき、廃棄物処理業者に委託して処理すること。

組成・成分情報	化学名又は構造式	CAS No.	含有量
	フッ化水素(HF)	7664-39-3	9.5%
	ポリアクリルアミドメチルプロパンスルホン酸	27119-07-9	50-75%
応急措置	総括: 事故発生に際しては、直ちに医師の診察を受けること。その際には、ラベル等を提示すること。 吸入した場合: 被災者を新鮮な空気のある場所へ移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。 皮膚に付着した場合: 直ちに、汚染された衣類をすべて脱ぐこと、又は取り去ること。皮膚を流水又はシャワーで洗うこと。 目に入った場合: 直ちに水で数分間、注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。洗浄を続けること。 飲み込んだ場合: 口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。大量の水を飲ませること。		
火災時の処置	消火剤: 粉末消火剤、泡状あるいは粉末状二酸化炭素消火剤、水、砂 適していない消火剤: 重水流を用いないこと。 火災の危険性: 可燃性 消火方法: 暴露された容器を冷却するためにスプレー状あるいはミスト状の水を用いること。いかなる化学火災時には注意を発令すること。 消火中の保護: 保護服、保護マスク着用していない場合は、火災エリアに立ち入らないこと。		

漏出時の処置	緊急時の処置: 人を退避させること。 保護服を装着した清掃員を装備し、風通しを良くすること。 環境に対する注意事項: 土壌や水への汚染を防ぐ。下水道や公共用水への侵入を防ぐ。万が一、
--------	---

	<p>下水道や公共用水へ侵入した場合は、管轄自治体へ一報入れること。</p> <p>清掃方法：漏出した箇所の損傷を防ぐために漏出物を吸い上げること。特に粘土や珪藻土のような固形物を注ぎ、速やかに吸い上げること。さらに、吸い上げた物を別に離して保管すること。</p> <p>その他：保護具、保護グローブ、保護メガネ(あるいは保護面)、保護マスクを装着させ、換気が悪い場合は空気呼吸器を使用する。処理中は飲食、喫煙を避けること。</p>										
取扱い及び保管	<p>取扱い；</p> <p>技術的対策：保護具、保護グローブ、保護メガネ(あるいは保護面)、保護マスクを着用する。 換気が悪い場所での使用の際は、空気呼吸器を使用する。</p> <p>局所排気・全体換気：暴露防止及び保護措置を参照。</p> <p>注意事項：作業終了時、中性石鹼と水で手を洗う。</p> <p>安全取扱い注意事項：金属、強酸、強アルカリとの接触を避けること。</p> <p>保管；</p> <p>技術的対策：床面等は、万が一、漏洩があっても公共水域への流出及び地下への浸透が起こらないようにする。</p> <p>混触禁止物質：金属、強酸、強アルカリとの接触を避けること。</p> <p>適切な保管条件：毒物劇物取扱法に従う。容器は密閉し、火元や直射日光を避け、20～25度にて保管すること。</p>										
暴露防止及び保護措置	<p>管理濃度：労働安全衛生法 0.5ppm(HF)</p> <p>許容濃度：日本産衛学会(2012年版) 3ppm 2.5mg/m³(最大許容濃度) ACGIH(2009年版) TWA 0.5ppm STEL C 2ppm Skin;BEI(as F)</p> <p>設備対策：局所排気、全体排気</p> <p>取扱場所の近くに安全シャワー、手洗い、洗眼設備を設け、その位置を明示する。</p> <p>保護具：</p> <p>[呼吸器の保護具]酸用防毒マスク</p> <p>[手の保護具]保護グローブ</p> <p>[眼の保護具]保護メガネ(あるいは保護面)</p> <p>[皮膚及び身体の保護具]耐酸衣、ゴム長靴</p> <p>衛生対策：保護具は保護具点検表により定期的に点検する。</p> <p>作業中は飲食・喫煙はしない。</p> <p>飲食、喫煙前には石鹼で手を洗う。</p>										
物理的及び化学的性質	<table border="0"> <tr> <td>物理的性状：液体</td> <td>色：黄色</td> </tr> <tr> <td>臭い：無臭</td> <td>pH：2</td> </tr> <tr> <td>融点：<0℃</td> <td>沸点：>100℃</td> </tr> <tr> <td>引火点：なし</td> <td>可燃性(固体、気体)：不燃性</td> </tr> <tr> <td>相対密度：>1</td> <td>溶解性：混和性</td> </tr> </table>	物理的性状：液体	色：黄色	臭い：無臭	pH：2	融点：<0℃	沸点：>100℃	引火点：なし	可燃性(固体、気体)：不燃性	相対密度：>1	溶解性：混和性
物理的性状：液体	色：黄色										
臭い：無臭	pH：2										
融点：<0℃	沸点：>100℃										
引火点：なし	可燃性(固体、気体)：不燃性										
相対密度：>1	溶解性：混和性										
安定性及び反応性	<p>反応性：熱分解により腐食性蒸気(フッ化水素ガス)が発生する。</p> <p>危険有害な分解生成物：一酸化炭素ガス、二酸化炭素ガス、腐食性蒸気(フッ化水素ガス)</p> <p>避けるべき条件：金属、強酸、強アルカリとの接触を避けること。</p> <p>直射日光や極端に高温・低温の場所を避けること。</p>										
有害性情報	<p>急性毒性</p> <p>飲み込んだ場合：極めて重大</p> <p>皮膚に接触させた場合：極めて重大</p> <p>吸入した場合：極めて重大</p> <p>急性毒性：経口 ラット LD50 >2000mg/kg</p>										

	<p>ATE CLP(皮膚) 5000mg/kg 体重 ATE CLP(上記) 0.500mg/l/4h 局所効果: 皮膚:皮膚の損傷を起こす(pH 2)。 眼:重大な眼の損傷を起こす(pH 2)。 呼吸器:吸入した場合、アレルギーやぜんそく症状、呼吸困難を起こす。 生殖細胞変異原性:分類対象外か分類できない。 発癌性:分類対象外か分類できない。 生殖毒性:分類対象外か分類できない。 特定標的臓器/全身毒性(単回暴露):呼吸器を刺激する。</p>
環境影響情報	<p>環境中での生態毒性:LC50 魚類 1 >60ppm (96h; 魚類; 致命的) EC50 ミジンコ属 1 >270mg/l(48h; ダフニアマグナ; ナトリウム塩) LC50 魚類 2 107.5mg/l(ニジマス; フッ素イオン) 限界値 藻類 1 95mg/l(96h; デスマデスマス) 環境への拡散を避けること。</p>
廃棄上の注意	<p>「毒物及び劇物取締法」関連の廃棄方法に準じて扱う。 廃棄方法: 本品の使用により生じた廃液、汚泥等は、関係法令に基づき、廃棄物処理業者に委託して処理すること。 使用後の容器は、関係法令に基づき、廃棄物処理業者に委託して処理すること。</p>
輸送上の注意	<p>国内規制: 陸上規制情報:毒劇法の規定に従う 海上規制情報:船舶安全法の規定に従う [国連番号]1790 [品名]フッ化水素酸(フッ化水素酸の濃度が 60%以下のものに限る) [クラス]8(腐食性物質) [副次危険]6.1 [容器等級]II [海洋汚染物質]環境影響情報による 航空規制情報:航空法の規定に従う [国連番号]1790 [品名]フッ化水素酸(フッ化水素酸の濃度が 60%以下のものに限る) [クラス]8 [副次危険]6.1 [容器等級]II 特別の安全対策:輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。</p>
適用法令	<p>主な適用法規:毒物劇物取締法(毒物) 労働安全衛生法(有害表示、特殊検診、通知対象物) 作業環境測定法 特化則(特定第2類物質) 危規則、港則法(腐食性物質) 航空法(腐食性物質) 水質汚濁防止法(人の健康に関わる物質:フッ素) 大気汚染防止法 下水道法 消防法(9条の3届出物質) 輸出貿易管理令 化学物質管理促進法(第1種374番)</p>
その他	<p>本記載情報は、作成時点で弊社が入手した資料・情報・データに基づいて作成されておりますが、新しい知見により改訂されることがあります。取扱いには十分注意してご利用ください。本製品は、歯科技工用セラミックス表面処理材料ですので、他の用途への利用は避けてください。</p>